

たらこ（鱈子）

旧国鉄（JR）の非電化区間の主力ディーゼル車と、1976年に登場し、合計888両もの大量生産されたキハ47型は、地方に行けば必ず見受ける車両で、最初から「赤色」でもなく「橙色」でもない色を全面塗装されたことから、その色合いから、あだ名を「たらこ」とつけられた。非常に



なじみの多い車両です。

ディーゼル機関車牽引から、電車方式の、両開扉で片運転台方式を採用された画期的なデビューでしたが、エンジン出力と車体サイズのバランスが良くなく、限定使用されるようになってきました。JR時代になっても、活用されているが、初期の塗装色のものは殆どなくなり、個性豊かな厚化粧をされているものが多い。（たらこ色のものは山陰線に残っているかな？）



呉線マリンビューのキハ47



加古川線のキハ47



姫新線のキハ47